

考えよう プラスチックごみのこと

環境課環境保全係 ☎(65)1064

ポイ捨てや不法投棄などによって海に流れ込むプラスチックごみ。現在、これらの「海洋プラスチックごみ」が引き起こす地球規模の環境汚染の拡大が懸念されています。

「海洋プラスチックごみ」は、山や川から発生するものも多く、決して鹿沼市も無関係の問題ではありません。

私たちの生活を便利にしてくれるプラスチック。その一方で、上手な付き合い方をしていく必要があります。

日々排出されるプラスチックごみのことについて、考えてみませんか。



「もりさとかわうみ栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を行いました



▲「プラごみゼロ宣言」を行った福島県知事と25市町の首長たち

プラスチックごみ対策の一層の強化を目指し、8月27日、市は県および県内他市町と共同で「もりさとかわうみ栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を行いました。

今後、県や他市町とともにオール栃木で、 unnecessary 使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底を図っていきます。

できることから始めてみませんか

国は、プラスチックとの賢い付き合い方を推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンを実施し、企業や団体、個人のプラスチックごみ問題の解決への取り組みを応援しています。

皆さんも一緒に、できる取り組みから始めましょう。

○例えばこんなこと…

レジ袋やスプーン、ストローなどは、必要がない場合には断る



ペットボトルなどのポイ捨ては絶対にしない



落ちているごみは積極的に拾って処分する



燃やすごみやプラスチックごみの分別を徹底する



▲プラスチック・スマートのロゴマーク

詳しくは、[栃木県 プラスチック資源循環](#)

[検索](#)

または [プラスチックスマート](#)

[検索](#)